

# 第98期 業務報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



気仙沼復興祈念公園から気仙沼湾を望む



気仙沼信用金庫

## 《基本方針》

当気仙沼信用金庫は、地元中小企業並びに地域住民のための金融機関として「地元を育て地元で伸びる」をモットーに産業経済振興のため金融の円滑化を図り、貯蓄の増強に資し、以って社会的使命の達成を期する。

## 《経営方針》

1. 公共性をよく認識し、誠実、親切、迅速を旨として会員の期待に応える。
2. 顧客と地域の繁栄のため最善の奉仕を尽くし、頼りにされる金庫にする。
3. リスク管理の徹底にて、資産の健全性に努め、盤石なる経営体制を構築する。
4. 清廉、敬愛、勤勉を旨とし、活力ある明るく楽しい職場作りに専念する。

## 《庶務の概要》

### 「総代会」

令和5年 6月23日 第97期通常総代会を開催し下記議案を付議、いずれも原案通り承認されました。

#### 〈報告事項〉

第97期業務報告、貸借対照表及び損益計算書報告の件

#### 〈決議事項〉

第1号議案 剰余金処分案承認の件

第2号議案 会員除名の件

第3号議案 理事2名選任の件

第4号議案 退任理事に対し退職慰労金贈呈の件

第5号議案 総代候補者選考委員15名の選任の件

### 「登記事項」

令和5年 4月 7日 出資総口数及び出資総額の変更登記を行いました。

令和6年 3月25日 役員に関する事項の変更登記を行いました。

## ごあいさつ



気仙沼信用金庫第98期の業務報告にあたり、会員皆様方の日頃からのご愛顧に衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年度を振り返りますと、国内経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、それまで自粛されていたイベントの復活や国内外への旅行客の増加など社会経済活動の正常化が進むと同時に、企業による高い賃上げなどデフレ脱却に向けた動きが進展したことや、株価においてはバブル経済崩壊以降の高値を更新するなど、経済回復への明るい兆しが感じられた年でありました。しかしながらその一

方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の不安定化、円安による原油価格の高止まりや輸入原料の高騰など、国内経済を取り巻く環境が依然として不透明なまま推移した年でもありました。

また、当金庫の営業エリアにおきましては、気仙沼魚市場では、カツオの豊漁により、震災後において最高水揚げ金額を達成したほか、岩手県大船渡市では、サンマ水揚げが数量・金額とも、昨年度に引き続き本州一位を達成するなど、明るい話題もありました。しかしながら、魚種によっては漁獲量が回復せず長期にわたっての不漁の継続や、海洋環境の変化による水揚げ魚種の変化など、今後、地域経済に与える影響に不安を残した一年でもありました。

そのような中、当金庫運営におきましては、これまでの東日本大震災からの復興ならびに創生推進はもちろんのこと、地域の持続的発展のために販路開拓支援や経営改善支援等へのさらなる注力および人材育成への取組みの推進等を事業計画に掲げ、役職員一丸で取り組んでまいりました。

令和5年度の当金庫の業績でございますが、預金残高は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う消費拡大や物価高騰により個人預金が減少したほか、業況回復途上による法人預金も減少した結果、昨年度比25億円減少の1,251億円を計上、また貸出金残高は、積極的な資金繰り支援や各種キャンペーン等の推進により、目標の505億円を上回る507億円の実績を計上することが出来ました。

損益状況では、マイナス金利政策の転換期を迎えて舵取りが難しい局面ではありましたが、貸出や余資運用に適切に取り組んだ結果、最終損益では0.8億円の利益計上を行うことができました。

この結果、金融機関の健全性を示す自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る31.98%となり、強固な経営基盤を維持しております。

国内での金融機関を取り巻く経営環境は、今後も厳しさを増すものと思われま。またその中において当金庫の営業環境につきましても、人口減少による地域経済の縮減懸念など様々な課題が山積しておりますが、これまで以上に金融仲介機能の発揮と、地域金融機関としての存在感を遺憾なく発揮し、地域の持続的発展に向けて役職員一丸となって貢献してまいりる所存ですので、会員の皆様方には、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様方のご健勝での益々のご活躍とご隆盛を心よりお祈り申し上げ、ごあいさつと致します。

令和6年6月

気仙沼信用金庫

理事長 小山 栄太郎

## 預金・貸出金・自己資本比率の推移

単位：百万円、%

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
預金残高	127,763	127,686	125,143
貸出金残高	50,227	51,154	50,793
自己資本比率	30.02	29.47	31.98

☆自己資本比率は、国内基準の4%を大きく上回る31.98%となっており、高い水準を維持しております。



## 第98期 剰余金処分

(自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	424,821,726 円
積立金取崩額	—
特別積立金取崩額	—

これを下記の通り処分致します。

剰余金処分量	119,547,692
利益準備金	10,000,000
普通出資に対する配当金 (年2.00%)	6,547,692
優先出資に対する配当金 (年0.02%)	3,000,000
特別積立金	100,000,000
繰越金(当期末残高)	305,274,034

以上の通りであります。

令和6年6月25日

## 気仙沼信用金庫

理事長 小山 栄太郎  
 常務理事 藤田 洋平  
 常務理事 三浦 善弘  
 常勤理事 加藤 将一  
 理 事 佐藤 亮輔  
 理 事 森田 潔  
 理 事 清水 敏也

以上、監査の結果正確適法であることを認証いたします。

常勤監事 熊谷 浩寿  
 監 事 高橋 台藏  
 監 事 生駒 利夫

なお、公認会計士後藤元一事務所による監査の結果、適法と認められております。

## 気仙沼信用金庫 役員一覧

理事長 小山 栄太郎  
 常務理事 藤田 洋平  
 常務理事 村上 修 (新任)  
 常勤理事 佐藤 秀徳 (新任)  
 常勤理事 高橋 弘則 (新任)  
 理 事 佐藤 亮輔  
 理 事 森田 潔  
 理 事 清水 敏也  
 常勤監事 及川 由美 (新任)  
 監 事 高橋 台藏  
 監 事 生駒 利夫

## 営業店店長一覧

本 店 鈴木 英樹  
 鹿折支店 小山 幸司  
 内の脇支店 熊谷 雅則  
 津谷支店 佐々木 猛  
 志津川支店 佐々木 猛 (兼務)  
 南支店 村上 達也  
 松岩支店 小松 文之  
 高田支店 大坂 康範  
 大船渡支店 山田 真理子  
 盛支店 山田 真理子 (兼務)  
 東新城支店 菅原 糸

# 当金庫の営業区域と店舗所在地



## 営業店のご案内

### 【通常営業】

- ・本店 宮城県気仙沼市八日町二丁目4-10 TEL 0226 (22) 6830代
- ・鹿折支店 宮城県気仙沼市新浜町二丁目4-13 TEL " (22) 6950代
- ・内の脇支店 宮城県気仙沼市仲町二丁目2-30 TEL " (22) 6730代
- ・津谷支店 宮城県気仙沼市本吉町津谷新明戸190-1 TEL " (42) 2666代
- ・志津川支店 宮城県本吉郡南三陸町志津川磯の沢117-49 TEL " (46) 2619代
- ・南支店 宮城県気仙沼市田谷12-1 TEL " (23) 6330代
- ・松岩支店 宮城県気仙沼市松崎萱33-14 TEL " (24) 2700代
- ・高田支店 岩手県陸前高田市高田町字馬場103-1 TEL 0192 (54) 2139代
- ・大船渡支店 岩手県大船渡市大船渡町字茶屋前162-3 TEL " (27) 8131代
- ・盛支店 岩手県大船渡市大船渡町字茶屋前162-3 TEL " (27) 4131代  
(店舗内店舗)
- ・東新城支店 宮城県気仙沼市東新城二丁目10-1 TEL 0226 (22) 6731代